

第9章 九重青少年の家

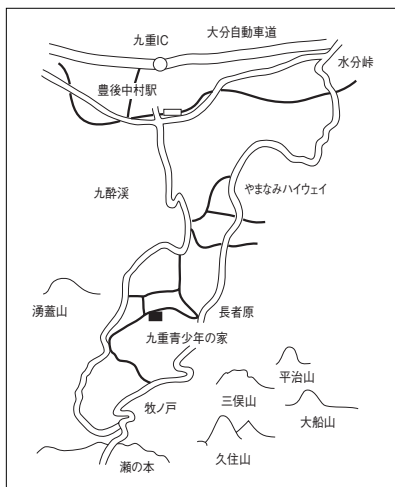
☎ 0973-79-3114
FAX 0973-79-3115

第1節 沿革

- 昭和58年4月 大分県立九重少年自然の家設置
- 昭和58年6月 管理研修棟・宿泊棟・ふれあい広場棟完成
- 昭和58年7月 キャンプ場・アスレチック場完成
- 昭和58年8月 開所
少年自然の家シンボル像
「競技前」建立
- 昭和59年4月 地熱水利用開始
- 昭和59年6月 プレイホール完成
- 昭和62年3月 雪すべり場完成
- 昭和63年3月 風力・太陽光発電設備完成
- 平成4年3月 活動センター完成
- 平成5年3月 スタードーム
(天体観測棟)完成
- 平成5年4月 延べ利用者総数50万人を記録
- 平成6年6月 天体観測棟への障がい者用スロープの完成
- 平成8年12月 キャンプ場・炊飯場増設
- 平成9年4月 延べ利用者総数70万人を記録
- 平成12年11月 宿泊棟・プレイホール屋根改修完成
- 平成13年4月 延べ利用者総数90万人を記録
- 平成13年10月 キャンプ場障がい者トイレ設置
- 平成13年11月 管理棟屋根改修完成
本館大浴場浴槽改修工事完成
- 平成14年6月 キャンプ場進入路舗装工事完成
- 平成14年12月 宿泊棟内部改修工事完成
- 平成15年1月 誘導灯取替及び高圧ケーブル引替工事完成
- 平成15年3月 入所者数延べ100万人突破
- 平成17年4月 「大分県立九重青少年の家」と名称変更
- 平成17年6月 キャンプ場活動センター前アスファルト舗装工事完成
- 平成20年3月 本館ふれあい広場棟多目的トイレ設置工事完成
プラネタリウム機器整備事業完成
- 平成21年4月 組織改正により「大分県立社会教育総合センター九重青少年の家」と名称変更



九重青少年の家



位置図

第2節 施設

1 施設の面積

- ① 施設面積 166,774㎡
- ② 建物の面積 7,111㎡

2 宿泊人員 304人

3 主な施設・設備

(1) 屋内設備

- ① 研修部門 研修室・視聴覚室・会議室・談話室（図書室）・ふれあい広場・工作室・プレイホール・プラネタリウム室・スタードーム
- ② 生活部門 宿泊室（38室）・指導者室（4室）・リネン室・浴室（3室）・食堂・厨房・洗面所・トイレ
- ③ 管理部門 事務室・保健室・宿直室・機械室・乾燥室

(2) 屋外施設

- ① 研修部門 フィールドアスレチック場・雪すべり場・太陽光発電設備・つどいの広場・多目的広場（運動場）・わんぱく広場・登山コース・OLコース・WRコース・自然散策コース
- ② キャンプ場 テントサイト（50張・宿泊人員250人）・管理棟・活動センター・営火場・炊事場・トイレ

第3節 平成20年度基本方針と事業内容

1 平成20年度基本方針

九重青少年の家は、阿蘇くじゅう国立公園内にあり、標高約1,000mの所にある。周囲は、雄大な九重連山に囲まれ、山麓には見事な草原やラムサール条約に登録されたタデ原湿原が広がっている。

当所では、このような地理的条件や地域の学習素材、施設の特徴を生かして、自然体験や集団宿泊などの活動を通して、主体性や協調性、「生きる力」等をも身につけ、新しい時代を切り開く心豊かでたくましい青少年の育成を図る。

また、家族のふれあいや青年、成人の生涯学習の場として、県民の充実した生活の支援を図る。そのため次の目標を掲げ、運営に当たる。

- (1) 集団宿泊生活を通じて、規律・協同・友愛・奉仕の精神を養う。
- (2) 自然体験活動の中で、たくましい心身の発達を促し、思いやりの心を育てる。
- (3) 集団生活を通じて、社会性や自主性を養う。
- (4) 自然の美しさや厳しさにふれ、自然に親しむ心や感動する感性を養う。

2 平成20年度事業内容

(1) 主催事業

① 青少年ふれあい交流体験推進事業

1) 青少年の豊かな心を育む体験活動事業

(ア) 「くじゅうアドベンチャースクール」

- 対 象 小学校4年生～中学校2年生
- 期 日 第1回 6月7日(土)～8日(日)
第2回 8月8日(金)～10日(日)
第3回 11月8日(土)～9日(日)
第4回 1月31日(土)～2月1日(日)

○参加者数 各55人

(イ) 「くじゅうエコキャンプ」

- 対 象 小学校4年生～6年生
- 期 日 第1回 8月18日(月)～20日(水)
第2回 11月1日(土)～3日(月)

○参加者数 各39人

(ウ) 「くじゅうの冬に鍛える少年のつどい」

- 対 象 少年団体とその指導者
- 期 日 2月7日(土)～8日(日)
- 参加者数 184人

2) 青少年教育指導者の研修事業

「自然体験活動指導者養成研修会」

- 対 象 大学生・一般
- 期 日 5月31日(土)～6月1日(日)
- 参加者数 13人

3) 家庭教育の支援及び地域貢献に資する事業

(ア) 「親子ふれあい自然教室」

- 対 象 幼児・小学生を含む家族
- 期 日 第1回「親子キャンプ」 8月23日(土)～24日(日)
第2回「親子自然観察」 9月6日(土)～7日(日)
第3回「親子紅葉登山」 10月25日(土)～26日(日)
第4回「親子スキー」 1月24日(土)～25日(日)
- 参加者数 第1回 63人
第2回 21人
第3回 60人
第4回 83人

(イ) 「施設開放事業」

- 対 象 青少年及び家族・一般
- 期 日 第1回「みんなの広場 in くじゅう」 10月19日(日)
第2回「親子で楽しむ手作り体験」 12月21日(日)

- 参加者数 第1回 142人
- 第2回 66人

(ウ) 「出前講座」

- 対 象 学校・公民館・青少年団体・社会教育関係団体等
- 期 日 9月～2月
- 参加者数 155人

② 森林環境学習指導者養成事業

「森林環境学習指導者養成・実践セミナー」

- 対 象 成人
- 期 日 第1回 6月14日（土）～15日（日）
- 第2回 7月5日（土）～6日（日）
- 第3回 10月4日（土）～5日（日）
- 参加者数 各16人

(2) 受入事業

① 利用者の範囲

- 1) 学校行事で利用する小・中学校及び高等学校（特別支援学校の小・中学部、高等部を含む。）の児童生徒とその指導者
- 2) 青少年団体の構成員とその指導者
- 3) 社会教育関係団体の構成員とその指導者
- 4) その他、所長が認めた者

② 利用日の設定

休業日（12月29日～1月3日）及び所が特別に定めた日を除く日

第4節 利 用 状 況

1 年度別利用状況（過去8年間）

